

松尾学区



データファイル

- 人口 12,281人
 - 世帯数 4,655世帯
 - 面積 7.755km²
- *平成17年国勢調査(10月1日現在)



歴史と文化を礎に更なる発展を続ける松尾学区

松尾学区は、明治22年町村制実施に伴い、京都府葛野郡松尾村として発足、上山田、松山、松尾谷、下山田、御陵の五ヶ村をもって構成されました。その後、昭和6年に松尾村が京都市に編入された当時の人口は約3,000人、世帯数600でした。阪急嵐山線の開通、宅地化の進行で人口が急増し、昭和46年松陽学区、昭和49年に嵐山東学区が独立し、現在に至っています。

最近では、京都市洛西第二地区土地区画整理事業が完成して人口が更に急増して、西京区30周年の今年松尾小学校の児童数は900人で京都市内で太秦小学校(右京区)に次いで二番目であります。

西芳寺(苔寺)、華厳寺(鈴虫寺)、最福寺旧跡(谷ヶ堂)延朗堂、地藏院(竹の寺)、浄住寺、安産石がある月読神社など有名寺社があります。この地域は、むくむくとしたシイの木々の山並みが印象的な松尾山に抱かれ、環境に恵まれた地です。むかし渡来人の秦氏は桂川の氾濫防止と農業用水の確保のため、進んだ土木技術を駆使、治水工事を行いました。桂川の水位よりも高いため水が引けなかった土地に、農業用水路が整備され、当時の経済の要であった米作が可

能となりました。松尾山と桂川からの恵みの水は今でも用水路として学区内の住宅地を南北に流れています。

また、学区の自治連合会は25自治会と15の各種団体で構成され、月に一回の定例会や総会を開催して縦と横の連携を強化しています。大きな行事としては、敬老会、学区民体育祭、自主防災訓練、クリスマスin松尾、福祉ふれあいまつりなど松尾地域住民の住みよい街づくりと地域の発展に寄与するために9事業の活動方針を基に推進・運営しています。近年は防犯や子育て支援の活動を充実させ、防犯ボランティアを結成し、小学校PTA、中学校PTAと連携をとりながら、子どもたちの見守りと健全育成に努めています。

更なる松尾学区の発展と安心・安全な街でありますように祈念して。



街のシンボル(棕の木)



防犯横幕(松尾小学校)



区民体育祭(松尾中学校)



一ノ井1号幹線(雨水)見学



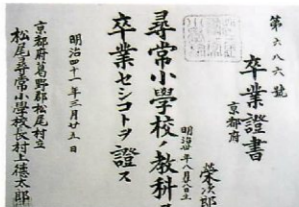
浄住寺



西芳寺(苔寺)山門



上ノ山古墳(松尾上ノ山町)



松尾村時代の卒業證書



松尾歩こう会



区民体育祭慰労会



最福寺旧跡(谷ヶ堂)延朗堂



地藏院(竹の寺)



華厳寺(鈴虫寺)



月読神社



1950年頃の松尾自治会館周辺



ここにこひろば(つみき児童館)



2006ふれあいクリスマス in 松尾